

仕様書

1. 件名 中山間地域等直接支払制度支援システム導入業務（第6期対応）
2. 借入期間 令和9年1月1日～令和12年3月31日
 なお、この契約は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第234条の3に規定する長期継続契約であるので、この契約に要する経費の歳入歳出予算の減額又は削除があった場合には、この契約を変更し、又は解除することができるものとする。（機器類賃貸借契約約款第27条第1項）
3. 納入場所 南房総市役所 本庁 別館2 1階 農林水産部農林水産課
 （〒299-2492 千葉県南房総市富浦町青木28）
4. 数量 中山間地域等直接支払制度支援システム導入業務（第6期対応） 1式
 （ノートパソコン及びタブレット（以下「リース対象機器」という。）各1台（計2台）を含む。）
 ※参考品
 ・HP 社製 250R G9/CT Notebook PC スタンダードノート 1台
 ・Microsoft 社製 Surface Go4（245×175×8.3mm） 1台
 同等品以上の機器で見積もる場合には、下記5の仕様を満たすこと。

5. リース対象機器の機能仕様

・ノートパソコン

内容	機能概要
OS	Windows 11 Pro 64ビット
アプリケーションソフト	Microsoft Office Excel・Access 2016、2019、2021、2024のいずれか 64ビット
パソコン本体	Intel Core i5 (Ultra5) 以上
メモリ	8GB 以上
ハードディスク	インストール先ドライブ（Cドライブ）に、20GB以上の空き容量

	※Cドライブ全体容量：250GB 以上及び SSD 推奨
ディスプレイ	解像度 1280×800 ドット 以上 (WXGA 以上)
ディスク装置	DVD-R
その他	マウス、ネットワークポート (LAN)、USB ポート (TypeA)

・タブレット

内容	機能概要
OS	Windows 11 Pro 64 ビット (ペン・タッチサポート)
必要なソフトウェア	Microsoft Office Excel2019、2021、2024 のいずれか
メモリ	8GB 以上
ストレージ	20GB 以上の空き容量 (128GB)
ディスプレイ	解像度 1920×1280 ドット
その他	ペン、無線 LAN、USB ポート、外付け GPS (Garmin GL0 2、GPS レシーバー)

6. リース対象機器に内蔵するシステムの仕様

賃貸借を行うリース対象機器には、以下の機能が備え付けられていること。

・ノートパソコン

機能	機能名称	機能概要
地図操作機能	拡大・縮小	地図を、マウスで指定した位置を基準として一定倍率で拡大・縮小表示する。
	範囲拡大	地図を、マウスで指定した範囲が画面に収まるように拡大表示する。
	縮尺指定拡大	縮尺を選択、又は入力して、指定した縮尺で地図を表示する。

	全体表示	地図を拡大表示している状態から、図面全体の表示に切り替える。
	ドラッグスクロール	地図をマウスでドラッグすることで、表示位置を移動する。
地図表示機能	レイヤ切り替え	任意のレイヤの表示・非表示を切り替える。
	頂点表示	図形頂点マークの表示・非表示を切り替える。
計測機能	距離計測	マウスで任意の2点間（折れ線で指定する）を指定し、距離を計測する。
	面積計測	マウスで任意の範囲を指定し、面積を計測する。
	傾斜計測	マウスで任意の2点間を指定し、標高点データから傾斜を取得する。
	対象施設延長計測	対象施設を図化すると同時に、延長を計測する。
	断面図計測	マウスで任意の複数点間を指定し、標高点データから断面を取得する。
図面印刷機能	画面印刷	システム画面上に表示している地図を、縮尺・用紙等の指定によりプリンタから印刷する。
	集落協定書添付図印刷	集落協定書添付図を、凡例・縮尺・用紙等の指定によりプリンタから印刷する。
	実施区域位置図下図印刷	実施区域位置図の下図を、印刷するレイヤ・縮尺・用紙等の指定によりプリンタから印刷する。
	実施区域位置図印刷	実施区域位置図を、印刷するレイヤ・縮尺・用紙等を指定してプリンタから印刷する。

	分割印刷	①集落協定書添付図を、凡例・縮尺・用紙等の指定によりプリンタから印刷する際「分割」し、図郭割図とともに印刷する。 ②図郭ごとに個別印刷する。
帳票出力機能	事業計画書及び活動計画書	事業計画書及び活動計画書を作成し、ファイルに保存する。
	現地確認関連帳票	現地確認野帳及び現地確認チェックリストを作成し、ファイルに保存する。
	その他関連帳票	その他事務処理等に必要の帳票を作成し、ファイルに保存する。 (集落一覧表、対象農地一覧表、対象農地一覧表(参加者順)、傾斜度算定表、個人別支払額一覧表、取組内容一覧表、作付面積集計表、水稻生産実施計画調査表)
集落協定図作成機能	図形追加	集落協定図形を新規に作成する。
	図形編集	地図上で選択されている集落協定図形を編集し、形状を修正する。
	図形削除	地図上で選択されている集落協定図形を削除する。
	図形検索	集落協定図レイヤに対し、入力したキーに合致するキーを持つ図形を検索し、選択状態にして画面内に表示する。
	情報入力	地図上で選択されている集落協定図形に登録されている情報を参照、又は更新する。
	ポリゴン結合	測定単位、団地、控除図形ポリゴンをそれぞれ結合し、一つのポリゴンを作成する。
	ポリゴン分割	測定単位、団地、対象農地、控除図形ポリゴンをそれぞれ分割し、二つのポリゴンを作成する。

	レイヤ間コピー	① 地籍図レイヤから対象農地レイヤへ筆図形を複写する。 ② 対象農地レイヤから測定単位レイヤへ図形を複写し、複写した図形を測定単位ポリゴンとして登録する。 ③ 地籍図レイヤから対象農地レイヤへ筆図形を作成する際、「対象農地レイヤ」に複写するか、「荒廃農地レイヤ」に複写するかを選択することができる。（荒廃農地及び協定に含めない農地の管理に対応）
	図形作成	対象農地レイヤに、対象農地を「フリーハンド」又は「座標入力」にて作成する。
	現地確認写真登録	現地確認で撮影された写真の位置を図面上に登録して管理する。
	現地写真一括登録	現地確認で撮影された写真に位置情報がある場合、地図上のその位置に一括して自動的に登録する。
エラーチェック機能	一覧表示	作図上の間違いを自動的に検出し、エラーリストに一覧表示する。
	図形検索	エラーリスト上で指定されている図形を検索し、画面内に表示する。
	メモ	備考欄に、メモを記入することができる。
	エクスポート	エラーリストの内容をファイルに出力する。
	整合性一括チェック	全図形の整合性をチェックし、エラーがあればエラーリストに表示する。

集落マスタープラン管理機能	マスタープラン管理	① 集落マスタープランの管理、および表示を行う。 ② 管理している場所を変更することができる。
	取り組み事項管理	具体的に取り組む事項と進捗状況の記入、管理等を行う。
	関連書類管理	マスタープランの取り組みにあたっての関連書類の管理、及び表示を行う。
実施区域位置図管理機能	線分描画	登録されている情報を元に、任意のレイヤを着色して地図上に表示する。
	ポリライン描画	実施区域位置図レイヤに折れ線図形を任意に作成する。
	ポリゴン描画	実施区域位置図レイヤに多角形図形を任意に作成する。
	円描画	実施区域位置図レイヤに円図形を任意に作成する。
	テキスト描画	実施区域位置図レイヤにテキストを任意に配置する。
	図形編集	実施区域位置図レイヤ上の図形を任意に編集する。
	図形削除	実施区域位置図レイヤ上の図形を任意に削除する。
	色変更	実施区域位置図レイヤ上の図形の色を任意に変更する。
その他機能	色塗り図作成	登録されている情報を元に、任意のレイヤを着色して地図上に表示する。
	色塗り図切替	作成した色塗り図の表示・非表示の設定ができる。
	矢印一括修正	標高点データを元に、傾斜測線の矢印方向を一括で修正する。
	テキスト一括変更	自由描写レイヤ上のテキストを、一括でサイズ変更する。

	地図イメージ出力	システム画面に表示されている地図範囲を、BMP ファイル形式で保存する。
	レイヤ情報の表示	特定のレイヤに関する情報を表示する。 表示されている情報を選択することで、該当図形を表示する。
	ラベル作成	作図データに対する、文字ラベルを作成する。
	文字配置編集	「ラベル作成」機能で作成した文字に対して、移動を行ったり、引出し線を作図したりする。
	管理者登録	対象となる管理者の情報を登録する。
	作付作物登録	作付作物情報を登録する。
	一括取込	指定フォーマットに入力された対象農地・管理者属性情報を取り込む。

・タブレット

分類	機能名称	
地図操作機能	全体表示	地図を拡大表示している状態から、図面全体の表示に切り替える。
	拡大・縮小	地図を、指定した位置を基準として一定倍率で拡大・縮小表示する。
	移動	地図上で、タッチペン・ボタンを利用することで移動する。
地図表示・検索機能	レイヤ切り替え	任意のレイヤの表示・非表示を切り替える。
	状態表示	管理状況に合わせて対象農地の色を変更して表示する。
	住所検索移動	対象農地を住所から検索しその位置に移動する。
	状態検索移動	対象農地を管理状況で検索し、

		かつその位置に移動する。
計測機能	位置計測	GPS 利用し位置を計測し、地図上のその位置に移動する。
入力機能	対象農地情報	対象農地の所在、地目、面積等を表示し、入力補助を行う。
	管理状況入力	対象農地の管理状況（活動形態（耕作・維持）及び管理状況（未調査、再調査、適、否、免））を入力する。
	カメラ撮影	内臓カメラで撮影したデータを農地に関連付け保存・表示する。
	コメント	管理状況に対するコメントを付加することができる。
	履歴	調査履歴を保持し表示する。
	対象施設	対象施設についても情報を登録できる。
帳票出力	野帳出力	現地確認野帳を作成し、ファイルに保存する。
	写真台帳出力	写真台帳を作成し、ファイルに保存する。
その他	対象農地印刷	集落単位で、凡例・縮尺・用紙等の指定によりプリンタから印刷する。
	本体連携	本体システムから調査対象農地のインポート、調査結果を本体システムへエクスポートする。 本体で登録した協定集落、対象農地情報等が参照できる。

- ・ 農地の登録から、傾斜測定・傾斜要件自動判定・面積測定・面積要件自動判定・控除図形登録・対象施設登録・団地範囲設定・交付金額自動計算・各種協定帳票作成・各種図面作成・実施区域位置図作成までの各種一連の処理ができるシステムであること。
- ・ 誤った入力をするリアルタイムでエラーリスト欄に表示される機能が

あること。

- ・標高データから傾斜角度の自動計測、等高線入力による自動計測がされること。ただし、実測値（任意の数値）の入力も可能な機能を有すること。
- ・急傾斜・緩傾斜・超急傾斜加算の傾斜要件の自動判定をする機能を有すること。
- ・地図データから図測による面積の自動計測がされること。ただし、実測値（任意の数値）の入力も可能な機能を有すること。
- ・1 ha 以上あるかどうかの面積要件の自動判定ができること。
- ・マウスの操作で団地範囲の設定ができること。
- ・交付金額（加算金額含む。）を自動計算し、各種作成帳票に反映されること。
- ・集落協定書本文から別紙様式までの各種帳票を自動作成できること。これらに加えて、参考書類（現地確認野帳・集落一覧表・対象農地一覧表・対象農地一覧表（参加者順）・傾斜度算定表・個人別支払額一覧表・作付面積集計表・水稻生産実施計画調査表など）を自動作成できる機能を有すること。
- ・システム上で実施区域位置図の作成と管理ができること。
- ・自動的に各種集落協定図面の作成、出図と管理ができること（凡例付・ラベル設定・自動分割出図・画面印刷・ビットマップデータ出力など各種機能を有すること。）。
- ・入力データの一括チェック（入力内容のチェック）とデータベースチェック（作図内容のチェック）の機能を有すること。
- ・データのバックアップを保存する機能を有すること。
- ・制度の変更、交付金変更、帳票類の変更等について適切にシステムに反映させること。

7. その他
- ・リース対象機器は、新品であること。
 - ・リース対象機器の設置を行うこと。
 - ・リース対象機器を使用する者（農林水産課担当者）への十分な操作研修や、資料の提供を行うこと。
 - ・リース対象機器のメーカー保証期間は、4 年以上有すること。
 - ・入札書記載額は、月額（税抜き）を記載すること。
 - ・月額リース料金には、送料、設置費等、本案件に係る一切の費用を含めること。

- ・ 賃貸借契約期間中、リース対象機器については、賃貸人を保険契約者とする動産総合保険契約を賃貸人の負担により締結すること。
 - ・ リース期間終了時におけるリース対象機器の撤去にかかる費用は、落札者の負担とし、ハードディスクのデータ完全消去については、以下のどちらの方法でも構わない。
 - ① 消去専用ソフトによる「ソフト消去」
 - ② HDDにドリル等で穴開けすることで物理的に破壊する「物理破壊」
- また、消去報告書を書面で提出することとし、市が指定する場所で行うこと。なお、上記以外の方法による完全消去をしたい場合は、別途協議とする。
- ・ 中山間地域等直接支払制度支援システム操作マニュアルをリース対象機器の納入時に併せて納入すること。
 - ・ 本仕様書に定めのない事項及び不明な点が発生した場合には、農林水産課担当と協議すること。